



幡豆中学校



幡豆 と 歩む

～地域を見つめ、新たな幡豆の未来を創造する生徒の育成～

- 1 「にしがま線夢シーサイドウォーク」の行事を継続することで、広い地域を自らの目で見つめ、校区のよさを実感し、心豊かに、しなやかでたくましい生徒を育てる。
- 2 身のまわりの「ひと・もの・こと」に感謝の気持ちを持ち、ボランティア活動などを通して、地域の方やお世話になった方のために実践できる生徒を育てる。
- 3 防災教育の充実を図り、避難訓練、「三ヶ根通信ボランティア」、地域防災訓練などから、災害時や緊急時に地域の戦力になる中学生を育てる。
- 4 「幡豆中 学習スタンダード」を意識して、一人一人の「わかった、できた」を大切に、自ら学ぶ意欲をもつことができる生徒を育てる。

にしがま線夢シーサイドウォーク

- ・幡豆の歴史や魅力にふれたり体感したりして、未来の幡豆について考えます。
- ・名鉄西尾蒲郡線沿い周辺や、海岸線沿いの約 20km のコースを仲間と協力して歩きます。



サンクス活動 思いを形に

- ・小学校、保育園、福祉施設、地域イベントなどにボランティアとして参加し、自己有用感を高めます。
- ・吹奏楽部のボランティア演奏会で、地域の方やお世話になった方に感謝の気持ちを伝えています。

地域の力となる防災教育

- ・登下校時避難訓練、土砂災害避難訓練など、年4回の訓練を行うとともに、全生徒各自の非常持出袋を備蓄し、「自分の身は自分で守る」「地域の力となる」意識を高めます。

話し合いを活用した 授業づくり

- ・生徒が「わかる」「できる」喜びを感じ、さらに「学びたい」「解決したい」という課題を設定します。
- ・「ハートタイム（コミュニケーション能力の育成）」の時間を充実させ、生徒がともに意見を出し合うことで、自らの考えの深まりが感じられる授業を推進します。

